

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成24年3月8日(2012.3.8)

【公開番号】特開2010-183015(P2010-183015A)

【公開日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2009-27528(P2009-27528)

【国際特許分類】

H 01 L 27/04 (2006.01)

H 01 L 21/822 (2006.01)

H 01 L 21/82 (2006.01)

H 01 L 21/3205 (2006.01)

H 01 L 23/52 (2006.01)

【F I】

H 01 L 27/04 A

H 01 L 27/04 D

H 01 L 21/82 L

H 01 L 21/82 W

H 01 L 21/88 Z

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月20日(2012.1.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

半導体基板と、

前記半導体基板上に設けられた第1方向に延びる電源配線と、

前記電源配線の電圧によって駆動されるように前記半導体基板上に設けられ、かつ第1および第2ゲートを含む回路とを備え、

前記第1および第2ゲートのそれぞれは、前記第1方向と交差する第2方向に延びる第1および第2端部領域を含み、前記第1および第2端部領域の各々の一方端は前記電源配線に面し、前記第1および第2端部領域は前記第1方向において互いに第1間隔を空けて配列されており、さらに

前記第1および第2端部領域の間の少なくとも一部を埋め、かつ平面視において前記第2方向に沿って前記第1および第2端部領域の間を通る空隙部を有する絶縁膜と、

前記電源配線上に設けられ、平面視において前記第1および第2端部領域の間の領域の前記第2方向に沿った延長領域から離れて配置された電源コンタクトとを備えた、半導体装置。